

平成28年度青森県介護支援専門員 専門研修 実施要項 (実務従事者及び実務経験者)

1. 目的

専門研修…介護支援専門員として就業している方に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の習得を図り、介護支援専門員としての資質や専門性を高めることを目的とします。

2. 研修日時・場所

日程表①、日程表②のとおり。

3. 受講対象者

①専門課程Ⅰ：原則として、介護支援専門員としての実務に従事している方であって、就業後6ヶ月以上の方。

②専門課程Ⅱ：原則として、介護支援専門員としての実務に従事している方であって、就業後3年(36ヶ月)以上の方。

◆介護支援専門員としての実務経験の範囲は以下の①から⑧の事業所又は施設において、介護支援専門員として就労したものとします。但し、これらの事業所または施設で就労していたとしても、単に要介護認定のための調査業務のみを行っていた場合や利用者やサービス提供者との連絡調整のみを補助的に行っていたのみで、サービス計画の作成を行っていなかった場合は、実務経験としては認められません。また、指定居宅介護支援事業所においては、基準上、常勤専従の管理者を置くこととなっていることから、当該管理者については、実務経験があると認めることとします。なお、実務経験期間については、特段の定めがないことから、実務経験の多寡を問わず、サービス計画の作成を行っていれば、「実務経験者」として取り扱うこととします。

①居宅介護支援事業所 ②特定施設入居者生活介護に係る居宅サービス事業者 ③小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護及び地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護に係る地域密着型サービス事業者 ④介護保険施設 ⑤介護予防特定施設入居者生活介護に係る介護予防サービス事業者 ⑥介護予防小規模多機能型居宅介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護に係る地域密着型介護予防サービス事業者 ⑦介護予防支援事業者 ⑧地域包括支援センター

●平成28年～29年10月31日までに有効期間が満了する方は、専門研修ではなく、更新研修(実務従事者及び実務経験者)をお申込み下さい。

●「介護支援専門員の資格及び研修の体系」(P4)を参考に、今回の研修を受講して下さい。

4. 定員	◆専門課程Ⅰ	青森会場	50名程度
	◆専門課程Ⅱ	青森会場	50名程度
		八戸会場	50名程度

*本研修は更新研修(実務者)と同プログラムのため、合同で開催します。そのため平成28年～29年10月31日までに有効期間が満了する更新研修受講者が優先となります。

5. 受講申込方法

別紙「受講申込書」(専門Ⅰ・専門Ⅱ)に(HP:<http://www.acma2015.or.jp/>からもダウンロードできます)必要事項を記入の上、有効期間満了日が記載された介護支援専門員証のコピーを同封して、必ず郵送又は事務局へ持参にて申込み下さい。FAXでの申込みは受付しません。

6. 研修内容・受講料

研修内容	受講料	テキスト・資料代	合計
専門課程Ⅰ	15,500円	8,500円	24,000円
専門課程Ⅱ	11,000円	4,000円	15,000円

- 受講料は平成28年4月1日改定後の金額であり、青森県議会第285回定例会において条例案が可決・成立した場合に適用されます。よって、受講料については受講が決定した際に振込依頼書にてご確認下さい。
- 受講決定通知書送付時に「振込依頼書」(手数料無料)を同封しますので、**5月2日(月)まで**にお振込下さい。
- 研修初日の受付時に「振込受付証明書」(お客さま用)を回収致します。(コピー可)
- お振込いただいた受講料・テキスト資料代は返金できませんのでご了承下さい。**

7. 受講申込締切

平成28年3月15日(火)必着。 締切後の申込書は一切受付しません。

8. 受講決定通知書の送付について

定員を超過した際は、人数調整の上、受講者を決定します。受講可否の通知書は、4月上旬に受講者のご自宅に送付します。4/15を過ぎても通知が届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

9. 持参するもの

- 振込受付証明書(お客さま用)
- 筆記用具
- 印鑑
- 受講票
- 提出事例

※資料は研修当日にお渡しします。

※提出事例の内容については、受講決定通知送付時に対象者へ同封します。

10. 修了証明書について

研修の日程をすべて修了された場合のみ、本協会が発行します。

11. 更新研修との関係

「更新研修」は「専門課程Ⅰ+専門課程Ⅱ」に相当し、介護支援専門員証の有効期間内に専門課程Ⅰと専門課程Ⅱの2つの研修を受講することにより、証の更新手続きを行うことができます。前回、更新研修(実務従事者及び実務経験者)または専門研修の修了証明書によって更新手続きを行った方で、現在の介護支援専門員証の有効期間中に介護支援専門員として実務従事者及び実務経験がある方は、専門課程Ⅰの内容が免除となります。

※ 注意! 更新の手続きは自動的にされませんのでご注意ください。手続きは介護支援専門員証の有効期間満了日までに申請しなければ更新できません。

12. 主任介護支援専門員研修との関係

今後実施予定の主任介護支援専門員研修を受講するためには、「更新研修(専門課程Ⅰ+専門課程Ⅱ)」又は「専門研修(専門課程Ⅰ)+(専門課程Ⅱ)」を修了していることが必要となります。

13. 留意事項

- 研修を受講するにあたり事例提出が必要となります。事例を提出できない場合は受講できません。
- 更新研修実施要項は、青森県及び当協会ホームページに掲載されております。
- 更新研修と合同で開催するため平成28年～29年10月31日までに有効期間が満了する更新研修受講者が優先となりますので、ご理解のうえご協力願います。
- 申込者数によっては受講会場の調整を行う場合がありますので、予め御了承下さい。調整を行った場合のみ、後日連絡します。
- 研修会場は受講者用の駐車場は用意しておりませんので、できるだけ公共の交通機関をご利用願います。
- 昼食は各自で準備願います。
- 研修会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。
- 研修の実施を妨げるような行為が認められ、研修実施者の注意に従わない場合は、受講を取りやめていただく場合があります。
- 欠席・遅刻・早退は認められません。また、講師に無断で講義途中で退出した場合は、欠席扱いとさせていただきます場合があります。

14. 個人情報について

平成28年度青森県介護支援専門員更新研修の「受講申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、青森県介護支援専門員更新研修及び名簿登録・修了証明書発行業務以外の目的に利用することはありません。

15. 申込み・問い合わせ先

公益社団法人 青森県介護支援専門員協会事務局（平日9:00～17:00） 〒030-0801 青森市新町2丁目8-21 青森県医師会館6階 TEL 017-721-3731 FAX 017-721-3732

日程表①

平成28年度専門課程Ⅰ 日程表

会場:リンクステーションホール青森 5F 大会議室 (青森市堤町1-4-1)

	研修日	予定時間	時間数	研修カリキュラム	
1 日目	5月10日 (火)	9:50~10:00	10分	オリエンテーション	講義/演習
		10:00~17:10 (12:00~12:40昼食)	6時間	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び学習課題の設定	
2 日目	5月13日 (金)	9:50~17:00 (12:00~12:40昼食)	6時間	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び学習課題の設定	講義/演習
3 日目	5月17日 (火)	9:50~13:00 (13:00~13:40昼食)	3時間	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	講義
		13:40~17:00	3時間	対人個別援助技術及び地域援助技術	
4 日目	5月30日 (月)	9:50~12:00 (12:00~12:40昼食)	2時間	ケアマネジメントの実践における倫理	講義
		12:40~17:00	4時間	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	
5 日目	5月31日 (火)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	講義/演習
		14:50~19:00	4時間	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	
6 日目	6月7日 (火)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	認知症に関する事例	講義/演習
		14:50~19:00	4時間	入退院時等における医療との連携に関する事例	
7 日目	6月8日 (水)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	家族への支援の視点が必要な事例	講義/演習
		14:50~19:00	4時間	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	
8 日目	6月14日 (火)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	講義/演習
		14:50~16:50	2時間	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	講義
		17:00~19:10	2時間	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	講義/演習

※休憩含む (計56時間)

日程表②

平成28年度専門課程Ⅱ 日程表

青森会場:リンクステーションホール青森 5F 大会議室 (青森市堤町1-4-1)

八戸会場:八戸市総合福祉会館(はちふくプラザねじょう) 2F 多目的ホール (八戸市根城8-8-155)

	青森会場 研修日	八戸会場 研修日	予定時間	時間数	研修カリキュラム	
1 日 目	7月5日 (火)	7月11日 (月)	9:50~10:00	10分	オリエンテーション	
			10:00~14:50 (12:00~12:40昼食)	4時間	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの 今後の展開	講義
			15:00~19:10	4時間	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関 する事例	講義/演習
2 日 目	7月6日 (水)	7月12日 (火)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	看取り等における看護サービスの活用に関す る事例	講義/演習
			14:50~19:00	4時間	認知症に関する事例	
3 日 目	7月21日 (木)	7月28日 (木)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	入退院時における医療との連携に関する事 例	講義/演習
			14:50~19:00	4時間	家族への支援の視点が必要な事例	
4 日 目	7月22日 (金)	7月29日 (金)	9:50~14:40 (12:00~12:40昼食)	4時間	社会資源の活用に向けた関係機関との連携 に関する事例	講義/演習
			14:50~19:00	4時間	状態に応じた多様なサービス(地域密着型 サービスや施設サービス等)の活用に関する 事例	

※休憩含む (計32時間)

専門研修受講申込書

(実務従事者及び実務経験者)

1. 申込者(受講者本人が太枠内のみ記入)

整理番号(記入不要) 第		号	申込日	2016年	月	日
介護支援専門員証	登録番号(8桁)			経験年数(通算)	年	ヶ月
	介護支援専門員証の有効期間満了日	年 月 日			※有効期間満了日が平成28年から平成29年10月31日までの方は更新研修でお申し込みください。	
ふりがな				性別	生年月日(※西暦)	
氏 名		(姓)	(名)	男 女	19	年 月 日
勤務先	事業所名					
	所在地	〒				
	TEL/FAX	TEL ()	FAX ()			
自宅	住 所	〒				
	TEL/FAX	TEL ()	FAX ()			
受講申込内容	申込研修	◆下記の①～③から1つ選んで□にチェックを入れてください。			◆申込書に必要な添付書類	
		① <input type="checkbox"/> 専門研修(専門課程Ⅰ)	→	1.介護支援専門員証の写し		
	② <input type="checkbox"/> 専門研修(専門課程Ⅱ)	→	1.介護支援専門員証の写し			
	提出事例	◆専門課程Ⅱを受講の方は別紙事例選択表を参考に自分の事例で演習を行いたいと思う項目をア～キの中から選び記入してください。				
		第1希望 []	第2希望 []	第3希望 []		
希望会場	◆専門課程Ⅱを受講の方はご希望の会場を1つ選んで□にチェックを入れてください。					
	<input type="checkbox"/> 青 森			<input type="checkbox"/> 八 戸		
基礎資格(複数可)						
(※記載例: 医師・看護師・社会福祉士・介護福祉士・理学療法士等)						
本年度中に主任介護支援専門員研修を受講する予定の有無			有 ・ 無			

<p>【申込書送付先】 ※FAXでは受付しておりません</p> <p>「青森県介護支援専門員協会事務局」宛</p> <p>〒030-0801</p> <p>青森県青森市新町2丁目8-21 青森県医師会館6階</p>

事務局受付印	
--------	--

★ 研修の目的上、専門課程 II では受講生の提出事例を用いて演習を行います。

そこで、下記の**事例選択表ア～キの項目全てに対しての事例**の準備をお願いします。
実際に提出していただく事例については、最終的に事務局で指定した項目の事例となりますが、参考として自分の事例を用いて演習を行いたいと思う項目をア～キの中から選び、申込書の提出事例欄に第3希望まで記入してください。

専門課程 II 事例選択表

項目	カリキュラム名	選択する際の参考内容例
ア	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用等
イ	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について等
ウ	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がいの取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的、心理的な状況等
エ	入退院時等における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患、感染症等
オ	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した等
カ	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源の特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度・虐待等
キ	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進・利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護等

事例提出についての留意事項

- ① 提出事例に関係なくすべてのカリキュラムの受講が必要です。
- ② 事例を提出できない場合や上記ア～キに沿わない事例の場合は、**研修を受講できません。**
- ③ 希望された項目の事例と異なる事例を指定する場合がありますので、ご了解ください。
- ④ 地域包括支援センターの方は、介護予防支援や介護支援専門員の支援をした事例等で結構です。
- ⑤ 事例提出の詳細については、受講決定通知書に同封します。

※ 専門課程 I では使用する提出事例の内容については特に指定はありません。